

令和4年度

第2回耳納市民センター多目的棟管理運営委員会議事録

- 日 時：令和4年11月22日（火）午後1時30分～2時20分
- 場 所：耳納市民センター多目的棟2階会議室
- 出席委員：深山委員、後藤や委員、弥永委員、田中委員
森永委員、酒見委員、佐藤委員、以上7名
- 欠席委員：古賀委員、末次委員、上野委員、後藤イ委員
石橋委員、以上5名
- 事務局：市民センター担当次長 土屋
耳納市民センター所長 田中、課長補佐 出田
生きがい健康づくり財団（指定管理者）
多目的棟運営課長 主海、多目的棟館長 川崎

委員会の傍聴者なし

【1. 開会】

【2. 議題】

- (1) 多目的棟施設の利用状況について（令和4年4月～令和4年9月）

（事務局）別紙資料1ページにより説明

資料には10月までの実績と今後の予定も掲載

概要

(1) 施設毎利用状況では、本年度は、新型コロナウイルス感染症予防対策のための閉館はなかったが、9月18日に台風14号の避難所となり1日施設が使えなかった。昨年度は8月10日から9月30日まで完全閉館していたので単純比較はできない。

(2) 月別利用状況では、新型コロナウイルス感染症の第7波の影響で8月の利用者が減った。会議室利用は学習室の利用等で維持できた。9月のホール利用者の減は台風の避難所開設の日と利用予定日が重なったため。稼働率は多目的ホールでも平均で95%ありかなり利用してもらっている。

(3) 図書室利用状況は、やや増えているか、ほぼ横ばいの状況。近隣の方、小さい子供を呼び込んで利用を増やしていきたい。

(A委員) ホール利用と体育館利用の違いは何か？

(事務局) ホール利用は、音響施設や椅子を使うなどステージを利用した場合で、社交ダンスや成人式、児童センターの子どもの利用、保育園の運動会などがある。ホール利用の場合 6 か月前から予約ができる。
可動式の座席も毎年点検している。

(2) 自主事業の取り組みについて

(事務局) 別紙資料 2~4 ページにより説明

概要

昨年度はコロナ禍で自主事業の中止が多かったが、今年度は中止無しで計画通り進めている。

1. 現代的・社会的課題に関する学習講座では、3 事業を計画。様々な現代の課題、時事問題などをテーマにした講義形式の学習講座の『多目的棟カレッジ』は 6 月からスタートして月 1 回のペースで開催。コロナ禍なので定員を 15 名に制限。定員を超える申し込みがあり、リピーターも多い。中でも『善導寺おもしろ歴史講座』は募集が 30 名あったので 1 講座増やした。

(サテライト講座) の方は、えーるピア久留米で行っている『えーるピアカレッジ』の講座をインターネットでオンラインでつなぎ、ライブ形式で生配信した講座を受けてもらうもの。こちらは、ライブ形式とはいえ参加は少ない。

『シニアライフ充活講座』を定員 12 名で 8 回に分けて多彩なメニューで実施。募集してすぐ定員に達した。

2. ライフステージ別市民学習講座では、5 事業計画。世代別に必要となるテーマで講座を計画。実績欄には、3 か月毎に区切って募集しているので 4 期に分けて参加者と延べ参加者を載せている。定員は多めに設定しており、昨年並みかそれ以上の参加がある。

『自主学习支援事業』は、会議室の利用予約が入っていない時、小中学生の自主学习の場として会議室を活用。

『小学生科学工作教室』は、3 月に小学生を対象に科学実験教室を計画。

3. ライフスタイル別市民学習講座は、6 事業を計画。継続的に文化的な活動を会議室で行ってもらうもの。全ての事業で昨年度より参加者が増えているため、『シニアかな書道教室』は 2 コースに分け、『初めてのウクレレ教室』も別の曜日、日程で事業を追加した。前述教室と『初めての水彩画色鉛筆画教室』では、学習成果をいろいろなところで披露できるように、えーるピア久留米の文化祭にも参加してもらった。
4. 図書室における自主事業については、7 事業を計画。

小学生を対象にした夏休みの宿題応援事業を2つ実施。

読書活動推進事業は2事業。1つは、10月にお金のかからないブックマーケットをイベント形式で実施。不要になった本を無料で譲渡した。もう1つは、12月予定の『クリスマスプレゼントキャンペーン』で、一人10冊分の図書貸出レシートで1回くじが引けて、雑誌の付録などが当たるもの。

読書週間事業では、クリスマスの『ぬいぐるみお泊り会』を計画。内容は、0歳児から小学生を対象に、ぬいぐるみと一緒にお話会を聞き、ぬいぐるみだけがお泊りしている姿をアルバムにしてクリスマスプレゼントとして渡すもの。

図書おはなし会は、本の読み聞かせで以前から実施してきた事業。コロナ禍で中止していたものがようやく9月から再開できた。

耳納図書アウトリーチ事業は、本を借りに来れない方に本を持っていくもので、近隣の福祉施設3か所に毎月30冊を届けている。

5. 市民活動活性化事業は、イベント中心で、『耳納文化祭』と『耳納卓球大会』をそれぞれ3月と2月に実施予定。『耳納文化祭』については後ほどご協議をお願いしたい。

質問なし

【3. その他】

(事務局)『耳納文化祭』について

概要

耳納文化祭について実施要綱(案)を作成

令和2年度から当財団がこちらの施設を管理運営しているが、今年度が初めての事業になる。

日時：令和5年3月12日(日曜日)10時から15時予定

会場：耳納市民センター多目的棟全館

内容：ステージ発表会 12団体程度

作品展示

その他 体験、お食事、販売、図書関連コーナーを設ける

(B委員)善導寺校区は、去年からカラオケや踊りのサークル活動がなくなった。昨年は文化展示会の形で、ステージ発表会は無く2日間の作品展示を行った。

今年も3月11日から12日が文化展示会の予定。

(C委員)山本校区も昨年度は文化展示会の形で縮小して行った。今年度は2月4日

から 5 日に大々的に行う予定。ステージと駐車場を使って模擬店を出す準備をしている。

(A 委員) コロナ禍の動向にかかわらず実施するのか？

(事務局) 福岡県や市からの具体的な制限が出ない限りは、感染症予防対策を実施しながら行う予定。

(A 委員) 草野校区は、3 月 11 日から 12 日にツバキ祭りがあり、参加者はそれほど多くないが、地域をあげて協力する予定。

(D 委員) 春のこの時期は、行事が多く重なるのは仕方がないと思う。

(事務局) この時期は、図書館の蔵書点検期間になっており、図書室が休みなので利用者が減ってイベントがやり易いのではとの理由だった。もし、この時期に文化祭をやることで近隣の校区に迷惑をかけるようになれば日程を変更するか、連携して実施する仕掛けも調整したい。パイを奪い合うのではなく、共有したい。

(E 委員) 大橋校区は、既に文化祭を実施し大盛況だった。演劇も実施し、少人数の時は 2 階を会場にして、小学生の踊りや太鼓など大人数の時は駐車場を全面使って実施した。『大橋輝翔太鼓』は、以前、ツバキ祭りと耳納文化祭が同日に重なった時は、午前中にツバキ祭りで演奏し午後に耳納文化祭に参加したことがあった。先週、市の共同ホールであった市内 14 団体が競演した太鼓の演奏会にも参加したが、そちらも大盛況だった。太鼓演奏はできるだけ参加したい。

(事務局) 事務局より、連絡事項。

- ① 多目的棟施設の修繕について、施設を利用できない日が発生する。
 - ・ 体育館の照明を LED に改修する工事を今月 30 日までに行う。
 - ・ 図書室について、全市的な図書システムの入れ替えのため今月 24 日から 30 日まで閉館となる。
- ② 管理運営委員会について
 - ・ 概ね 6 月と 11 月の年 2 回開催し、次回は 6 月頃の予定。

(A 委員) 前回の会議で扇風機の件について検討をお願いしていたがどうなったか？

(事務局) 置き場の問題と備品関連に扇風機は上がっていないので、今のところ設置には至っていない。

【4. 閉会】